

平成 29 年度 事業報告書

1. まえがき

この報告書は、平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の事業実績である。

2. 概 況

「アルカス SASEBO」の管理運営を行う指定管理者として、佐世保市から指定されるとともに、当年度の事業計画に基づき、地域文化の振興と育成、地域文化活動の活性化を目指し、設立の趣旨に沿った各種事業（自主・共催事業、コンベンション事業、ホールボランティア事業、友の会事業）を実施した。

3. 庶務報告

(1) 監査の実施

平成 29 年 5 月 8 日に平成 28 年度決算監査を実施した。

(2) 会 議

① 第 26 回理事会 （平成 29 年 5 月 12 日）

- ・ 定款第 25 条第 4 項に基づく職務執行状況報告
- ・ 平成 28 年度事業報告及び財務諸表について
- ・ 公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・ 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

② 第 21 回評議員会 （平成 29 年 5 月 30 日）

- ・ 平成 28 年度事業報告及び財務諸表について
- ・ 公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・ 理事の改選について
- ・ 評議員の改選について

- ③ 第 27 回理事会 （平成 29 年 10 月 2 日）
 - ・ 定款第 25 条第 4 項に基づく職務執行状況報告
 - ・ 平成 30 年度事業計画について
 - ・ 育児・介護休業規程の一部改定について
 - ・ 就業規程の一部改定について
 - ・ 常勤理事（常務理事）の報酬月額について
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ④ 第 28 回理事会 （書面決議）（平成 29 年 10 月 27 日）
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ⑤ 第 22 回評議員会 （平成 29 年 11 月 7 日）
 - ・ 平成 30 年度事業計画について
 - ・ 評議員の改選について

- ⑥ 第 29 回理事会 （平成 30 年 2 月 2 日）
 - ・ 平成 30 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ⑦ 第 23 回評議員会 （平成 30 年 2 月 14 日）
 - ・ 平成 30 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について

4. 事業報告（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

平成 29 年度は、アルカス SASEBO の指定管理者として第 3 期目の 2 年目であり、開館 17 年目を迎えました。佐世保市文化振興基本計画及び公益財団法人佐世保地域文化事業財団の設立趣旨に基づき、質の高い文化芸術に触れる機会の提供と、効率的な管理運営を行うことにより、県北地域の文化振興及び地域活性化に寄与すべく引き続き事業運営を行いました。

当年度は、開館以来初めて、大ホール、及びイベントホールの舞台機構の大規模改修工事を約 1 か月半に渡り実施しました。一方、文化事業では、平成 29 年 6 月に国の文化芸術振興基本法が文化芸術基本法に改正され、文化の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各分野と連携しながら、文化芸術により生み出される様々な価値を地域の発展に活用することが盛り込まれました。そのような中、当財団は、平成 19 年度から 10 年間続けて、文化庁の助成金を獲得しており、文化事業における地域のリーダーとしての活躍を期待されております。また、現在検討中の佐世保市が中心市となって取り組んでおります西九州させぼ広域都市圏構想におきましても、文化の力を大いに活用できるよう取り組んでまいります。

（1）自主・共催事業について（定款第 4 条第 1 項第 1 号関係）

鑑賞事業（17 本）

自主事業 13 本、共催 4 本を実施。3 つのホールの特性を生かしながら市民の皆様のニーズをアンケートなどから反映させたラインアップをお届けした。

大ホールでは要望の多いオーケストラ公演「山田和樹指揮 横浜シンフォニエッタ」をはじめ、伝統芸能にふれる「デーモン閣下と一噌幸弘が贈る能楽コンサート『幽玄悪魔』」、「市川海老蔵 古典への誘い」、愛好者の多い吹奏楽にジャズの要素を加えた「吹奏楽 meets JAZZ Shion×中川英二郎」、親子で楽しめるバレエ公演「東京バレエ団子どものためのバレエ『ねむれる森の美女』」等バラエティ豊かに、中ホールではオリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスト・佐世保」を中心に「ナタリー・シュトゥッツマン」、「エマニュエル・パユ&エリック・ル・サージュ」、「フォルクハルト・シュトイデ」と世界一流の演奏会を中心に、イベントホールでは恒例となった「アルカスジャズカフェ 駒野逸美カルテット」、「アルカス新春寄席」、「アルカス映画祭」等を実施した。

市民参加事業（28 本）

自主事業 22 本、共催 3 本、受託事業 3 本を実施。

普及事業として継続して取り組んでいる「アルカス・カルテット」、「ロビーコンサート」、「ランチタイムコンサート 金子三勇士／弦楽四重奏＋クラリネット」では、アルカスを会場にしたコンサートに加えアウトリーチコンサートを実施、ホールに足を運べない方々へ音楽を届ける活動を行った。

また次世代を担う子どもたちを対象とした事業を積極的に実施、ホールの裏側を知る「ホール探検ツアー」、未就学の子どもたちと一緒にクラシック音楽を楽しむ「ドレミであそぼう！～0 才からのクラシック～」、ホールのステージでの演奏機会を提供する「こどもの日スペシャル～子どもミュージックマラソン」、お話とオーケストラ演奏を楽しむ「アルカス“キラっ都”させぼファミリーコンサート」、毎年人気の「伝統文化佐世保こども茶道教室」等の自主事業に加え、佐世保市の全小学 5 年生をオーケストラ公

演に招待する「子どものための音楽鑑賞体験教室」やアニメーション映画とミュージカルを鑑賞する「平成 29 年度子ども芸術体験」を佐世保市から受託し、多くの子どもたちに足を運んでいただいた。また「音楽アウトリーチ事業 演奏家がやってくる！」では市内の小学 4 年生 14 クラスの音楽室に演奏家を派遣し、生の演奏に触れる授業を行った。

さらに、多くの市民でにぎわう「アルカス九十九島音楽祭」、「佐世保 JAZZ at アルカス SASEBO」、「長崎新聞クリスマスこども大会」、「させぼ文化マンス」を今年度も実施、市民の交流を図った。

(2) 施設の維持管理及び管理運營業務について

(定款第4条第1項第2号関係・第5条第1項第1号関係)

芸術文化振興と地域活性化のための施設提供事業及び公益目的事業以外の施設提供事業と駐車場運營業務を行った。

区分	可能 日数	稼働 日数	稼働率	利用者数 (人)
大ホール	240	183	76.3	156,054
中ホール	285	176	61.8	35,179
イベントホール	285	191	67.0	41,589
大会議室	326	312	95.7	41,024
中会議室	330	326	98.8	12,505
小会議室	328	315	96.0	6,102
特別会議室	321	56	17.4	1,688
控室(応接室)	327	248	75.8	815
和室	327	244	74.6	5,191
茶室	296	47	15.9	523
第1リハーサル室	334	257	76.9	14,922
第2リハーサル室	334	249	74.6	16,114
練習室1	334	258	77.2	5,324
練習室2	334	293	87.7	5,459
練習室3	334	323	96.7	1,986
交流スクエア	334	285	85.3	72,410
ステッププラザ	334	44	13.2	14,443
アルカス広場	334	49	14.7	32,303
合計				463,631

施設提供事業については、利用者数が463,631人、施設利用料及び附属設備使用料収入は95,996,900円であった。

駐車場運営については、利用台数が29,507台、利用料収入は10,572,900円であった。

(3) コンベンション事業について
(定款第4条第1項第2号関係)

地域活性化に寄与するコンベンションについては、平成30年3月末の開館17年間で200件、約38万7千人の大会参加者を迎え入れることができた。

コンベンション開催の際は、式典・講演会を2,000人収容の大ホールで実施し、分科会を中ホール・会議室で行い、懇親会・展示会などはイベントホールを平土間（フラット）にして行うなどアルカスSASEBOの施設特性を最大限活かした利用方法を提案している。

〔平成29年度 コンベンション実績〕平成29年4月1日～平成30年3月31日

大会名	開催日	使用施設	参加 延人数
茶道鎮信流松洽会総会（全国大会）	4月15日・16日	会議室	280人
第65回全国公立高等学校事務職員協会九州協議会研究大会	6月8日・9日	中ホール・会議室	600人
第12回日本臨床コーチング研究会総会・学術集会	7月15日	会議室	190人
第20回長崎県合唱フェスティバル 第72回九州合唱コンクール長崎県予選	7月16日	大ホール・リハーサル室・その他	1,850人
第62回九州吹奏楽コンクール予選 長崎県吹奏楽コンクール	7月22日・23日 ・30日	大ホール・イベントホール・会議室・リハーサル室・その他	7,000人
平成29年度国民体育大会第37回九州ブロック国体ハンドボール競技の諸会議・開始式	8月18日	会議室	160人
スーパーハウジングフェア in 佐世保 2017長崎県住宅フェア in 佐世保	9月30日 10月1日	全館	5,070人
第34回日本アマチュア歌謡祭九州・沖縄地区決勝大会	10月15日	イベントホール・リハーサル室	350人
第44回長崎県おかあさんコーラス大会佐世保大会	10月29日	大ホール・イベントホール・会議室・リハーサル室・その他	2,000人
第71回全国お茶まつり長崎大会	11月11日	大ホール・イベントホール・会議室・その他	1,450人
第58回九州国公立幼稚園・こども園会教育研究大会長崎大会	11月17日	中ホール・会議室	350人
計 11 件			19,300 人

※平成30年3月31日現在

(4) ホールボランティア事業について
(定款第4条第1項第3号関係)

平成12年10月、アルカス SASEBO の自主事業を支援する市民参加型のホールボランティア制度を設け、手当は提供しないものとして募集を行い、活動をスタートした。愛称をサーブ (SAV: 佐世保・アルカス・ボランティアの略) と名づけ、主にチケットもぎりや、プログラム配布、客席案内などの公演運営に関わる活動を行っている。

財団職員による「事業説明会」を定期的実施し、公演情報を取得し、ポスターやチラシを配布するなど、広報活動にも取り組んでいる。

また、外部講師を招いてのアナウンス研修や、フロントスタッフ研修も実施し、知識と技術向上を目指している。

ボランティアの自主的な活動と、コミュニケーション作りの場として「SAV 通信」をボランティア編集員の手により年4回発行しているほか、ボランティア同士が交流する場として「アミーチの会」も随時実施し、より良い活動になるよう取り組んでいる。

また、これらの活動実績が認められ、平成27年度佐世保市教育委員会文化・スポーツ表彰、文化功労賞(団体)を受賞した。このような SAV の活動を、情報紙「アルカス News」で紹介し、市民の皆様へ向けて PR することで、意欲の向上と、新規参加者の応募増につながるよう努めている。

平成29年度は12人の新規登録者を迎え、20代から80代までの幅広い年齢のメンバーが交流しながら文化を支える活動に取り組んだ。

平成30年3月31日現在の登録人数 58人

自主共催事業への参加	活動数	30事業	69回	延べ参加人数	431人
自主共催事業以外の研修等への参加	活動数	25回		延べ参加人数	348人

(5) 友の会事業について

(定款第5条第1項第2号関係)

アルカス SASEBO の友の会組織である「アルカスクラブ」は、ゴールド、オレンジ、ホワイトの個人会員 3 種類と、法人会員の計 4 種で運営してきたが、法人会員のチケット購入利用が少ないこと、および、財団の柱の事業である「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」のスポンサー営業との輻輳もあることから、平成 28 年度末で新規受付を終了、平成 29 年度末で制度自体を廃止した。今後、法人向けの営業は、『①自主事業のチケットセールスに特化、②「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」のスポンサーの拡大』の 2 点に注力して行うこととしている。

毎年好評をいただいている「会員限定ツアー」では、JR 九州の観光列車である「或る列車」とタイアップした『JR 九州人気の D&S 観光列車「或る列車」乗車と長崎の旅』、および、人気の歌舞伎公演鑑賞企画として、『博多座 二月花形歌舞伎「中村勘九郎・尾上松也・中村七之助」観劇ツアー』の 2 企画を実施した。

文化芸術により興味を持っていただけることを目的に開催している「アルカス SASEBO 文化茶話」では、財団の自主事業に連動した内容の講師をお招きし、より、自主事業に興味と購買意欲が深まる機会の創出として、①トーク&ミニコンサート「シューベルトの優しさと哀しさ」(ピアニストの今井 顕氏を迎え平成 29 年度の M プロジェクトのテーマである「シューベルト」にまつわるトークとミニコンサート)、②東京バレエ団 子どものためのバレエ ねむれる森の美女 プレイベント「バレエの歴史と見どころ」(東京バレエ団からの講師による講演)、③トーク&ミニコンサート「古今東西・笛の世界～伝統芸能にみる言葉遊びを交えながら」(能楽一噌流笛方 一噌幸弘氏を迎えての「幽玄悪魔」のプレイベント)の 3 本を開催した。

平成 29 年度は、窓口での会員更新時にアンケートを実施し、会員にとって利便性の高い購入方法や、会員制度のより良いあり方を検討するための基礎データの収集、基礎資料の作成に取り掛かった。

・現在のサービス

チケットの先行販売・予約、割引、情報誌の送付、FAX 情報の配信、協力店での割引サービス、会員向け企画の実施

・平成 30 年 3 月 31 日現在の会員数

会員総数 2,212 人 (法人会員含む)

ゴールド会員 1,165 人 オレンジ会員 320 人 ホワイト会員 726 人 法人会員 1 法人